

## UTILITY MODEL ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication Number: JP 40-6954 Y1

(43) Publication Date: March 2, 1965

(71) Inventor: Shozo MATSUI

(54) Title of the Invention: Sanitary Napkin

(57) Abstract:

In a sanitary napkin according to the present device, a spring-like cellulose wadding body 1 formed by inflecting a hygroscopic paper-like member is wrapped by a water-repellent sheet 2 and a low water-absorbance sheet 3, so that at least both ends overlap with each other. For the case of bonding sheet 2 and sheet 3 together, as shown in FIG. 2 for example, bonding thereof may be by way of various physical methods such as pressing, shear force, high-frequency waves, ultra-optical waves, and photo-heating using a water-soluble adhesive, and lastly both long ends thereof are pressure-trimmed. Alternatively, as shown in FIG. 3, sheet 2 is covered by sheet 3, sheet 2 and sheet 3 are bonded by an appropriate physical method without an adhesive, and lastly both long ends thereof are pressure-trimmed.

## 生理用ナプキン

実 願 昭 38-77677  
出 願 日 昭 38. 10. 16  
考 案 者 松井昭三  
東京都板橋区栄町1  
出 願 人 山之内製薬株式会社  
東京都中央区日本橋本町2の5の  
代 表 者 山内健二  
代 理 人 弁理士 砂川五郎

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案具体例の平面図、第2図は第1図のX-X線における断面図、また第3図は別の具体例の断面図である。

## 考案の詳細な説明

生理用ナプキンが使用者に快感を与える為には適度の弾性を有しなければならず、また使用個所との接触面が乾燥していなければならない。その上使用済みの後そのまま水洗便所等に流してもこれを詰らせないことが肝要である。

本考案は例えば紙綿等よりなる吸湿性の紙状物を屈曲して発条様紙綿体となし、該発条様紙綿体をそのままあるいは2個以上重ね合せ、このものを撥水性シート（防水層）と濡れても千切れずかつ、吸収性の少ないシート（当片）とで少くともそれぞれの両端が重量するごとく包囲しかつ、両長端部のみを押圧切断整形して成る生理用ナプキンである。

この考案になるナプキンでは紙綿体部分としては吸湿性紙状物を適宜屈曲してなる発条様紙綿体が用いられており、殊に該発条様紙状物としてクレープ紙を使用するときはそのクレープ方向と屈曲方向とが形成する相対角度を任意に変更して弾性を適宜調整することによつてこの柔軟性を適宜に調整することが出来る。

以下本考案の具体例を示す図面により本考案になるナプキンの構成を説明すると共にその効果を明らかにする。

図において1は紙綿等の吸収性紙状物を屈曲し

て作つた発条様紙状体をそのまままたは複数個重ね合せてなる吸収層、2は防水加工を施した撥水紙またはプラスチックフィルム等の撥水性シート3は強靱紙多槽抄き紙、脱紙綿、化学繊維、ガーゼ等の肌に接触して濡れても千切れずかつ吸湿性の少ないシート層で、これはその使用目的に応じはてそれぞれ単独あるいは適宜組合せて防水層および当片として使用されている。

即ち本考案のナプキンの一具体例では、発条様紙綿体1を当片3と防水層2とでそれぞれ紙綿体の片面を完全に覆被してなるものである。そうして該当片と防水層とを相互に接着する場合、水中において紙綿体の繊維が分散するのを阻害しないように、例えば第2図に示すように防水層の表面をその大部分が露出するごとく当片で包囲する構造とし、かつ当片と防水層との接合部分を水溶性接着剤を用いて全面あるいは部分的に押圧、剪断力、高周波、超高波および光熱等の各種の物理的方法で接合し、最後に両長端を押圧切断整形する。

また、本考案の別の具体例によると同様に紙綿体の繊維が水中において分散するのを阻害しない為に例えば第3図に示すごとく、紙綿体1および防水層2の表面に当片3で完全に覆被されているが、接着剤を使用することなく防水層側で該当片の両端を相互に上記の適当な物理的方法をもつて接合した後、両長端を押圧切断整形する。

こうして作られたナプキンは両長端部において強固に接着されているため吸収層がズレる虞れが全くなくかつ、綿紙等よりなる紙状物を屈曲した発条様紙綿体を使用しているから使用者に爽快感を与えその上水洗便所に捨てても詰まるような懸念がない。

## 実用新案登録請求の範囲

例えば紙綿等よりなる吸湿性の紙状物を屈曲して発条様紙綿体1となし、該紙綿体をそのままあるいは2個以上重ね合せ、このものを撥水性シート2と濡れても千切れずかつ、吸収性の少ないシート3とで少くともそれぞれの両端が重量するごとく包囲し、かつ両長端部のみを押圧切断整形してなれ生理用ナプキン。

図 1

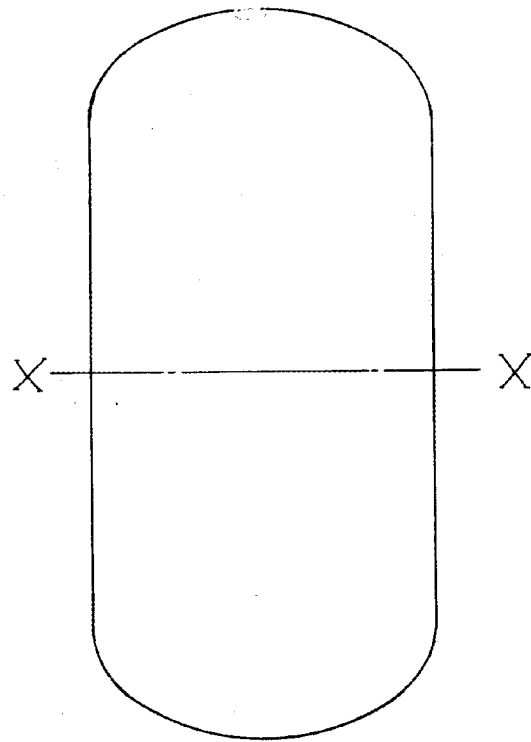


図 2

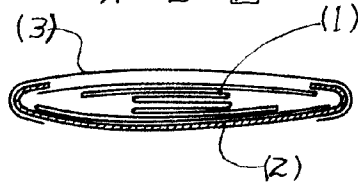


図 3

